

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年12月14日

仙台市 六郷児童館 カレンダー作り

12ヶ月の日付けが印刷された上の白い空間に、思い思いの絵を描いたり、コラージュしたりして、来年一年うちのどこかに飾ってもらおうという企画です。来年の干支は「うま」ということで、アトピーの“かゆいかゆい”を手なずけながら“駆けるうま”の絵をじっくりと仕上げた男の子。頑張った！恐竜の絵をファンキーなタッチで描いた男子は、完成後の写真撮影でも、恐竜になりきっていました。先生と一緒に、犬の絵をなんとか描き上げた子。金銀の丸シールを縦横無尽に貼り制作していた男の子は、お迎えのお母さんが来ても、切り上げることができずに、家に帰ってから仕上げるからと、ちょっとだけ丸シールをお持ち帰り。ぐるぐるに描かれた線は、なんと迷路！という作品。抜け出せるのかなあ？ダイナミックに我が道を進む男の子たちに比べると、女の子たちは、キラキラ、可愛らしい、それこそ「これぞ女の子！」という画面づくりが圧倒的多数でしたね。最初は誰も手をつけなかったグルーガンなのですが、いろんなものがくっつくと、次第に人気は大上昇となり、場所を広げ、ガンの数も増やして、そこは最後の最後までごったがえの場所と相成った次第。貝殻、スパンコール、モールにリボンと、持って帰るのに一苦労しそうなカレンダーもたくさんできた、六郷児童館の「カレンダーづくり」のワークショップでした。

